



の園だより

秋の深まりの中で

秋も深まり、木々の葉の色づきが鮮やかになってきました。先日、全園児で第4公園に園外保育に行きました。途中、柿の木に実がたわわになっているのを見ついたり、コキアの葉が色づいているのを見ついたりしました。地域を歩くことで、園内とはまた違った自然の様子に気付くことができました。

先日の保育参観では、ご多用の中多くの保護者の方に来園していただき誠にありがとうございました。また、年少さんの玉入れや、年中さんの親子ゲーム、年長さんのバルーンなどお子さんと一緒に活動していただき感謝いたします。親子の触れ合いには様々な形がありますが、一緒に体を動かすことは子どもの心を満たす大切な時間となります。お家の方と一緒に活動する子どもたちの表情は、いっつものに増して輝いていました。

さて、明日は創立記念日です。昭和48年4月1日に本園は舟石川幼稚園として創立され、同年11月1日を創立記念日と決めました。これは、昭和47年11月1日に、学校法人東海学園が村に移管され、村内に村立村松幼稚園、石神幼稚園が創立されたのを記念してのことでした。本園は本年度で創立51年目を迎えました。明日は子供たちにも本園の歴史と創立記念日について話をしていきたいと思います。



- 年 長
- ・ 集団の中で、一人一人が十分に力を発揮し、目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。
- 年 中
- ・ 季節の変化を感じとり、興味や関心をもって関わる。
 - ・ 友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いを伝えながら遊ぶことを楽しむ。
- 年 少
- ・ 身近な秋の自然に触れながら自然物を使って遊ぶことを楽しむ。
 - ・ 遊びの楽しさを感じながら、自分なりに表現して遊ぶことを楽しむ。
 - ・ 秋の自然に触れて、楽しく遊ぶ。



- 全 体
- ・ 薄着の習慣に努めるようにする。
 - ・ 手洗い，うがい，消毒の仕方を確認する。



11月の行事予定

日	曜 日	行 事 予 定	降 園 時 間
1	水	創立記念日 諸費袋配布（年少・年中） NLT	14：20
2	木	諸費納入日（年少・年中） 諸費袋配布（年長）	14：20
3	金	文化の日	／
4	土		／
5	日		／
6	月	諸費納入日（年長）	14：20
7	火	第3回 PTA 運営委員会	14：20
8	水	NLT	14：20
9	木		14：20
10	金	避難訓練（竜巻） 新入児健康診断(村松幼稚園)	14：20
11	土	家庭教育学級講演会	／
12	日		／
13	月	県民の日(休園)	／
14	火		14：20
15	水	NLT 交通指導 預かり申請書配布 家庭教育学級(キャンドル作り)	14：10
16	木	身体測定（全）	14：20
17	金	発表会手具作り	14：20
18	土		
19	日		／
20	月	誕生会 預かり申請書締切日	14：20
21	火	保幼小交流（秋と遊ぼう）	14：20
22	水	NLT 発表会予行練習	14：20
23	木	勤労感謝の日	／
24	金		14：20
25	土		／
26	日		／
27	月		14：20
28	火	美化作業(年少)	14：20
29	水	県教育課程研究発表会(休園)	／
30	木	美化作業予備日	14：20

12月の予定

- 1日（金）生活発表会
- 6日（水）わんぱくクラブ
- 7日（木）誕生会
- 8日（金）避難訓練（消防署）
- 11日（月）身体測定
- 14日（木）お楽しみ会
- 15日（金）降園指導
- 16日（土）施設公開
- 17日（日）
- 18日（月）カスミ食育体験（年長）
- 19日（火）午前中保育
- 20日（水）
- 21日（木）2学期終業式



預かり保育は12月27日（水）が最終日となります。1月は、4日(木)からとなります。よろしくお願いします。

15日(水)は、交通指導のため、お迎えの時間が異なります。ご注意ください。



自己肯定感を育むために

自己肯定感とは、生まれてから長い時間をかけて、親や関わる大人、育った環境や様々な経験などで育まれていきます。とりわけ幼児期の親・周囲の大人との関わりが重要ですので、大切に思っている気持ちをしっかり伝えてあげましょう。（自己肯定感とは、「自分は大切な存在だ」「自分はかけがえない存在だ」と、子どもが思えることです。）

Check !

愛情を伝えるコツ

- ◆声かけ(どうしたの、お話聞かせてね、上手にできたね、おいしいね等)
- ◆ほほ笑い返し(目が合ったら、分かるように笑い返しましょう)
- ◆アイコンタクト(しっかり見つめ合い、アイコンタクトで答えましょう)
- ◆スキンシップ(抱っこ、おんぶ、こちょこちょ、手遊び等)子どもは心が満たされ、安心します。

Point

子どもをたたいてはだめ？

たたかれると、子どもたちは……
○相手が自分の思うとおりにならないとき、たたいていいのだと思ってしまいます。
○からだの大きい者は、小さい者をたたいていいのだと思ってしまいます。
○自分をたたいた人を、こわがったりきらいになったりします。
○おとなをこわがるようになります。
ジャニス・ウッド・キャタノ『完璧な親なんていない』三沢直子監修、幾島幸子訳、ひとなる書房 2017